

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 3月 11日

事業所 放課後等デイサービス愛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			室内に必要以上に物を配置しない事でできるだけスペースの確保に努めている。またクッション材や敷物等で角がある棚等を覆う事で事故防止に努めている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	10			児童指導員、看護師、機能訓練士等配置基準に必要な職員と現場の業務上必要な職員がきちんと配置されているかを事前に必ず確認しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3	1	危険と思われる場所にはクッションを用いて安全に配慮しながら行っている。また、二部屋を仕切っていた扉を外すことで、可能な限りのバリアフリー化に努めている。	バギーを出し入れする際のスロープを固定した方が良いのではとの意見があった。ただ現段階では賃貸の建物を使用しているため、スロープの固定は不可。現在使用している取り外しのできるスロープで事故等はないが、今後も注意していきたい点ではある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3	1		日々行っている会議には出勤している職員は全員参加しており、聞けなかった方の為にも申し送りノートを活用し、全員が同じ目線でサービスの提供をできるよう配慮している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			送迎時や連絡を取りやすい環境をつくり、直にいただいた保護者の意向や希望を可能な限り業務に反映するよう努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			法人のホームページと年に4回発信している愛だよりにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	8		外部による評価は行っていないが、学校や他の事業所等からの評価や助言には極力耳を傾け、改善するよう努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			コロナ感染防止に努めながら実施。今年は虐待防止研修及び救命救急講習を外部の講師を招いて実施できた。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			計画作成時だけでなく、日ごろからご家族と話し合う事で利用者様ご自身とご家族のニーズ課題を知り、計画に落とし込むよう心がけている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2		アセスメントツールを基盤として事業所内で作成した「要約」を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1		保育士だけでなく看護師等、別職種の職員も参加し、全員で立案及び活動を実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			コロナの影響により、外での活動ができない中、極力新しい活動プログラムを考え、取り入れるよう心がけている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2		個別支援計画書を基として平日、休日、長期休暇時と状況に応じて、ご家族と話し合いながら支援を行うよう心がけている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			利用者様個々の特性や個性を考えながら計画を作成し、利用者様のその日の状況に応じて個別と集団の活動を実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			昼礼に申し送りをし、再確認を行った後でその日の支援活動に移行している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	2		支援後は送迎支援を行っている為、その日に支援の振り返りを全員で行う事は困難である。翌日の昼礼にて振り返りを行い、気づいた事に関する共有や、改善案等を出し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			個人記録やご家族への連絡ノート、業務日誌、バイタル表を日々作成し、また必要と思われる事項も随時記載している。また、以降の改善や振り返り等の際の資料としている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	2		半年に一度サービス計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10			利用者様にあった支援活動をガイドラインに照らし合わせながら実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			看護、情緒、性別等、利用者様が必要とする支援状況に応じた職員を選出し、参画するよう心がけている。また医療的ケアを行う利用者様については原則看護職員を選出している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			学校へのお迎え時や、また必要に応じて電話等で情報の共有や確認も行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	2		主治医からの指示書をご提出いただき、医療ケアを実施している。また利用時には必ずご家族から緊急時の医療機関の連絡先と主治医の先生のお名前を記載していただき、緊急連絡先ファイルを作成して職員が把握できるようにしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	3	積極的に情報の共有ができるよう努めているが、プライバシーに関わる事なのでご家族とお話をしながら進めている状況。	※ただし今年度は小学1年生のご利用はありませんでした。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2		対象事業所へは書面と口答にてお伝え済み。また、学校内で開かれる移行支援に参加し、会議を実施している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	4	一部の支援センターに必要時の連絡は行っているが、日常的な交流はない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	7	職員のお子さんなどに来園していただき、交流する事があったが、現在はコロナの影響により中止している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	6		参加したいのだが、サービス提供時間内は職員配置の関係もあり、参加できないのが現状である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			送迎時や電話・メール等を活用してご家族と話し合い、課題や利用者様の発達の状況に応じた支援ができるよう努めている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	6		発達障害を持つ親子の方をメインとしたトレーニングなので、重症心身の方に適用させる事が難しい。今後、対象としたトレーニング等があれば是非取り入れていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			事業所運営の根幹部分であるので丁寧に実施を心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			ご家族から相談があった場合等には個人情報に配慮しながら、ご家族や利用者様の気持ちに寄り添って相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	9	プライバシー的な観点もあり、保護者会の開催支援は行っていない。また開催の要望もない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			苦情がまだ発生していないので何とも言えないが、苦情の発生時には迅速にまた誠実に対応したいと考えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			広報「愛だより」を発行している、また必要に応じてお知らせ等も随時配布している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	10			情報の掲載や提供の際には必要に応じて、ご家族や学校、他事業所等に確認や了承を得ながら行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			送迎時や連絡ノート、電話やメール等でその日の様子や出来事を伝え、ご家族と利用者様の橋渡しをしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	8	ご近所の方についてはこの事業所について、特性等をお伝えしており、隣組のお隣づき合い的な事は行っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10				マニュアルについては事業所開所当時に作成して配布や配置をしています。事業所に関しては玄関とプレイルームの2か所に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10				年に2回の避難訓練、防災訓練を実施しています。またその他に防災訓練やその他の訓練も必要に応じて実施しており、実施後は愛だよりに掲載し、情報の発信を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10				年間通して、法人全体で研修を実施している。外部研修の実施と、今年は外部から専門の講師の方を呼び、研修を実施しました。 ※
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10				個別支援計画にも記載している。またご家族の方にも拘束する為ではなく、体位が取れない事により転落等の事故を防ぐ安全の為に実施する旨を説明し、その上で身体拘束の同意書にサインをいただいている、
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4	2		食物アレルギーや禁食の有無については事前にご家族へ説明し、確認書をご提出いただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10				ヒヤリハットは重大な事故につながる第一歩なので、事例があった場合には作成し、全員で再確認を行い、再発防止に努めている。